

令和元年度

伊賀南部環境衛生組合

一般会計決算審査意見書

伊賀南部環境衛生組合監査委員

伊南環監第12号
令和2年9月25日

伊賀南部環境衛生組合
管理者 亀井利克様

伊賀南部環境衛生組合
監査委員 菅生治郎
同 宮崎栄樹

令和元年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出
決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算及び附属書類について審査を行った結果、次のとおり意見を提出します。

目 次

1. 審査の対象	1
2. 審査した期間	1
3. 審査の方法	1
4. 審査の結果	1
5. 審査の概要	1
(1) 総括	1
(2) 歳入	2
(3) 歳出	4
(4) 財産に関する調書	6
むすび	7

(注) 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。従って、構成比において、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

令和元年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

1. 審査の対象

令和元年度伊賀南部環境衛生組合一般会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書

2. 審査した期間

令和2年7月21日から9月25日

3. 審査の方法

審査に付された決算書及び付属書類が、関係法令の規定に基づいて作成されているか、計数は正確であるか等について審査を行った。

また、内容審査は、抽出方式により例月現金出納検査、定期監査等を参考にしながら、関係資料を基に、必要に応じ担当職員の説明を聴取し、審査を実施した。

4. 審査の結果

審査に付された決算書及び付属書類は、関係法令の規定に基づいて作成され、また、計数は関係帳簿及び証書類と符号しており、適正であると認められた。

5. 審査の概要

(1) 総括

令和元年度の決算額は、歳入総額2,052,278,761円、歳出総額1,972,109,896円、歳入歳出差引額は80,168,865円となり、実質収支額も同額となった。

この決算額を前年度と比較すると、歳入総額は66,960,176円（3.4％）の増加、歳出総額は20,876,878円（1.1％）の増加である。

最近5か年の歳入歳出決算額の推移は、次のとおりである。

〈決算額の推移〉

(単位：円、%)

区分 年度	歳 入			歳 出			歳入歳出 差引額
	金 額	対前年度 増減率	指 数	金 額	対前年度 増減率	指 数	
平成27年度	1,926,380,391	1.7	100.0	1,864,005,884	1.3	100.0	62,374,507
平成28年度	1,847,248,697	△4.1	95.9	1,809,414,169	△2.9	97.1	37,834,528
平成29年度	1,973,543,621	6.8	102.4	1,900,049,096	5.0	101.9	73,494,525
平成30年度	1,985,318,585	0.6	103.1	1,951,233,018	2.7	104.7	34,085,567
令和元年度	2,052,278,761	3.4	106.5	1,972,109,896	1.1	105.8	80,168,865

※ 指数は平成27年度を100とした。

(2) 歳入

歳入決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
2,040,704,000	2,052,278,761	2,052,278,761	0	0	100.6	100.0

歳入決算額は2,052,278,761円で、収入率は予算現額に対し100.6%（前年度同率）、調定額に対し100.0%（前年度同率）となっている。

各款別決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	構成比
分担金及び負担金	1,782,390,000	1,782,390,000	1,782,390,000	0	0	86.8
使用料及び手数料	210,071,000	215,035,472	215,035,472	0	0	10.5
繰越金	34,086,000	34,085,567	34,085,567	0	0	1.7
諸収入	14,157,000	20,767,722	20,767,722	0	0	1.0
計	2,040,704,000	2,052,278,761	2,052,278,761	0	0	100.0

収入の主なものは、分担金及び負担金では、名張市分担金1,609,393,000円（90.3%）、伊賀市分担金172,997,000円（9.7%）、使用料及び手数料では可燃ごみ処理手数料76,032,000円、不燃ごみ処理手数料17,326,320円、ごみ処理手数料111,370,000円（名張市分102,146,000円、伊賀市分9,224,000円）、諸収入では、廃品売払収入8,769,167円、周辺環境（大気質）緊急調査業務委託料受入4,620,000円、クリーンセンター再性能試験実施に伴う支援業務委託料受入等2,900,000円、有償入札拠出金配分金3,695,131円である。

[款別歳入比較表]

(単位：円、%)

款	区 分	収 入 済 額		比 較 増 減	増 減 率
		令和元年度	平成30年度		
分担金及び負担金		1,782,390,000	1,687,319,000	95,071,000	5.6
使用料及び手数料		215,035,472	212,326,850	2,708,622	1.3
繰越金		34,085,567	73,494,525	△39,408,958	△53.6
諸収入		20,767,722	12,178,210	8,589,512	70.5
計		2,052,278,761	1,985,318,585	66,960,176	3.4

収入済額を前年度と比較すると66,960,176円(3.4%)の増加である。これは主に分担金及び負担金が増加したことによるものである。

[廃棄物処理手数料比較表]

(単位：円、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増 減 率
粗大ごみ処理手数料	3,062,400	3,097,200	△34,800	△1.1
特定家庭用機器 処 理 手 数 料	440,000	362,000	78,000	21.5
可燃ごみ処理手数料	76,032,000	77,035,440	△1,003,440	△1.3
不燃ごみ処理手数料	17,326,320	18,249,480	△923,160	△5.1
し尿処理手数料	6,330,570	6,609,240	△278,670	△4.2
ごみ処理手数料	111,370,000	105,402,000	5,968,000	5.7
計	214,561,290	210,755,360	3,805,930	1.8

廃棄物処理手数料を前年度と比較すると3,805,930円(1.8%)の増加である。これは主に指定ごみ袋の売上収入であるごみ処理手数料が増加したことによるものである。

(3) 歳 出

歳出決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
2,040,704,000	1,972,109,896	0	68,594,104	96.6

歳出決算額は1,972,109,896円で、執行率は予算現額に対し96.6%（前年度98.9%）となっている。

各款別決算額は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分 款	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率	構 成 比
議 会 費	236,000	235,288	0	712	99.7	0.0
総 務 費	51,900,000	48,846,530	0	3,053,470	94.1	2.5
環境衛生費	1,743,505,000	1,683,966,410	0	59,538,590	96.6	85.4
公 債 費	240,063,000	239,061,668	0	1,001,332	99.6	12.1
予 備 費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0	0.0
計	2,040,704,000	1,972,109,896	0	68,594,104	96.6	100.0

支出の主なものは、総務費では、プラザ棟等施設管理委託料2,210,772円、温浴施設管理業務委託料1,031,063円、名張市情報システム使用負担金等1,263,088円、環境衛生費では、収塵車管理費のごみ（可燃・資源）収集業務委託料355,765,100円、指定ごみ袋製造管理業務委託料39,555,135円、クリーンセンター費の燃料費41,599,270円、光熱水費117,166,395円、修繕料120,792,477円、クリーンセンター運転管理及び展開検査業務委託料231,011,220円、飛灰処理委託料29,293,437円、焼却機器類保守点検委託料24,896,300円、施設改修工事費188,604,600円、し尿処理場費の燃料費27,219,107円、光熱水費33,370,899円、修繕料51,021,480円、浄化センター運転管理委託料76,518,000円、公債費では、元金償還金225,178,446円（全て名張市分）、償還金利子13,883,222円（全て名張市分）である。

不用額の主なものは、クリーンセンター費の光熱水費5,443,605円、工事請負費9,702,400円、し尿処理場費の修繕料6,950,520円である。

〔款別歳出比較表〕

(単位：円、%)

款	区 分	支 出 済 額		比 較 増 減	増 減 率
		令和元年度	平成30年度		
議 会 費		235,288	150,000	85,288	56.9
総 務 費		48,846,530	125,943,283	△77,096,753	△61.2
環 境 衛 生 費		1,683,966,410	1,583,792,817	100,173,593	6.3
公 債 費		239,061,668	241,346,918	△2,285,250	△0.9
予 備 費		0	0	0	—
計		1,972,109,896	1,951,233,018	20,876,878	1.1

支出済額を前年度と比較すると20,876,878円(1.1%)の増加である。これは主に、環境衛生費で、収塵車管理費のごみ(可燃・資源)収集業務委託料が33,417,500円、クリーンセンター費の修繕料が83,863,477円増加し、仮破碎設備使用料が13,514,725円皆増したことによるものである。

〔組合債の状況〕

(単位：円)

科 目	令和元年度当初 未償還額	令和元年度 借入額	令 和 元 年 度 償 還 額			令和元年度末 未償還額
			元 金	利 子	計	
組合債	1,051,802,499	0	225,178,446	13,883,222	239,061,668	826,624,053

当年度末の未償還額は826,624,053円で、これは全て名張市分である。

(4) 財産に関する調書

公有財産及び物品にかかる財産管理状況は、次のとおりである。

[公有財産]

(単位：㎡)

区 分		平成30年度末現在高	令和元年度中増減高	令和元年度末現在高
行政財産	土 地	60,340.15	0	60,340.15
	建 物	16,183.71	0	16,183.71

[物 品]

(単位：台)

区 分		平成30年度末現在高	令和元年度中増減高	令和元年度末現在高
小型乗用自動車		0	0	0
小型貨物自動車		1	0	1
軽四貨物自動車		1	0	1
ダンプ	2t車	1	0	1
	4t車	3	0	3
塵芥車	パッカー車	7	0	7
	プレス車	1	0	1
低床式トラック	2t車	3	0	3
ブルドーザー		0	0	0
トラッシュローダー		0	0	0
ホイールローダー		2	0	2
フォークリフト		4	0	4
油圧ショベル		1	0	1
計		24	0	24

む す び

以上が令和元年度伊賀南部環境衛生組一般会計の決算審査の概要である。

当年度の決算額は、歳入総額 2,052,278,761 円、歳出総額 1,972,109,896 円で、差引額は 80,168,865 円となり、実質収支額も同額となっている。

歳入について、総額を前年度と比較すると 66,960,176 円 (3.4%) の増加となっている。款別決算額で増加となった主なものは、分担金及び負担金で 95,071,000 円の増である。これは繰越金の大幅な減少、火災事故によるクリーンセンター費の修繕料の増加による負担増に対応したことによるものである。

歳出について、総額を前年度と比較すると、20,876,878 円 (1.1%) の増加となっている。款別決算額で増加となった主なものは、環境衛生費で 100,173,593 円の増である。これはクリーンセンター費の修繕料、収塵車管理費のごみ(可燃・資源)収集業務委託料が増加したことが主な要因である。

歳出決算額は年々増加していることから、業務等の発注にあたっては、あらゆる角度から契約内容の十分な検証を行い、入札・契約事務の公平性・透明性・公正性及び競争性を確保し、より効果・効率的な予算執行とすることで支出の削減に努められたい。

施設管理においては、委託事業者に対して適時・適切な執行管理を行うことで、事故の発生を未然に防ぐよう安全管理の強化・徹底に努めるとともに、施設の火災事故等のリスクを低減させるため、市民へのゴミの分別に係る啓発を徹底されたい。

また、クリーンセンターについては、協定の期限を見据え、周辺住民はもとより生活者全体の快適な生活環境を将来にわたって持続できるよう構成市との協議を促進されたい。

なお、不適切な事務処理などで市民の信頼を失う事案も発生しており、組織としてのチェック体制を見直し、厳格な内部統制のもと再発防止への取組を徹底されたい。

